

丹波さん(増田高3年) 全国2位**食肉惣菜創作発表会 唐揚げ、甘じょっぱさ評価**

国産肉を使った創作料理の出来栄を競う食肉惣菜(そうざい)創作発表会(ミートデリカコンテスト)で、横手市の増田高校3年丹波萌愛(もえ)さんが、第2位の農林水産省畜産局長省を受賞した。鶏唐揚げとサツマイモ、餅をしょうゆや蜂蜜のタレで絡めた「和風ハニーバターおやつチキン」を考案。万人受けする甘じょっぱい味わいや、手軽に食べられる工夫が高く評価された。

全国食肉事業協同組合連合会の主催で、国産肉の消費拡大を目的に毎年開催されている。

2024年度は全国から1321点の応募があった。

地区予選を通過した27人による全国大会は、11日に武蔵野調理師専門学校(東京)で開かれた。

制限時間1時間以内に調理し、和食料理人や料理研究者ら審査員4人が味付けや経済性、独創性といった観点で審査した。

丹波さんのレシピは、韓国で流行しているハニーバターチキンをヒントにした。本場ではトッポッキ用の餅を使うが、入手しやすい国産切り餅で代用。味付けを試行錯誤する中でサツマイモも加え、おやつ感覚で老若男女が楽しめるようにした。



丹波さんは「入賞できるとは思っていなかったのですが表彰式で名前を呼ばれてびっくりしました。応援してくれた先生や家族のおかげでおいしいレシピにできた」と笑顔。

将来の目標は栄養士になることで、今回の受賞を自信にして勉強に励みたいと話した。

入賞したレシピの一部は専門家によるアレンジを経て、全国の食肉販売店で惣菜として販売される予定。(佐藤悠大)

